

第7回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和3年11月24日（水）午後2時より午後3時30分まで

協議内容

- ・コロナ禍における高齢者支援について、第6波に向けての対策・コロナフレイルからの脱却について報告・意見交換を行う。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

【基幹型地域包括支援センター】

- ・地域包括支援センターにて個別支援策検討会議を開催しているが、支援が難しいケースに関して、事例を通して検討する研修会を開催予定。
- ・「意向決定支援を踏まえた後見事務のガイドラインから学ぶ」というテーマで成年後見サポートセンターと一緒に主催して研修会を開催予定。

【地域包括支援センター】

- ・11/18の地域包括支援センター連絡調整会議にて、感染予防に気をつけながら行う対面型の事業とICTを活用した事業の取り組みを、4つの地域包括支援センターが発表した。

【訪問介護事業所部会】

- ・11/29に事業部会を開催予定。20周年事業ができていないので話し合いを行う。

【訪問看護事業者部会】

- ・毎月1回の管理者会にて、高齢者の方で3回目の新型コロナワクチン接種について迷われている方が意外にも多いといった印象であるとの意見があがった。

【介護支援専門員連絡会】

- ・11/19に「適切なケアマネジメント手法とは」というテーマでオンライン研修会を開催。

【枚岡医師会】

- ・インフルエンザワクチンの供給が足りず、医療機関ごとで困っている状況。
- ・新型コロナウイルスに関する検査数が激減している。
- ・特定健診の受診率が東大阪市は低いため、12月は受診率アップに向けての取り組みを医師会で行う。

【河内医師会】

- ・11/26に理事会開催予定。
- ・11/25にハイブリッド形式にて第7回河内緩和ケアセミナーを開催予定。
- ・3回目の新型コロナワクチン接種が12/1から開始される。

【布施医師会】

- ・11/25の14時よりイコーラムホールにて「超高齢社会を上手に乗り切ろう」をテーマに市民向け講演会を開催。
- ・11/20に地域包括支援センターヴェルディ八戸ノ里なのはなネットにて、「コロナ禍における災害への備えを考えよう」をテーマに市民向け研修会を開催。
- ・認知症初期集中支援チームについてエントリーが151件。終了が100件。
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種について、2回目接種から8か月経過した方が3回目接種の対象となるため、クーポン券が随時届く予定。

【市立東大阪医療センター】

- ・新型コロナウイルス患者はかなり減ってきている。抗体カクテル療法を受けている方もほとんどおらず、一般診療に力を入れている。

【社会福祉協議会】

- ・オレンジメンバー養成講座を開催し、10名の方が登録される。
- ・振り込め詐欺被害等防止機器について残数が40台ある。

【福祉事務所】

- ・ 障害者控除対象者認定申請書について、所得税・住民税の確定申告において、障害者手帳を持っていない場合でも、介護認定を受けている 65 歳以上の方も対象になる場合がある。

【地域包括ケア推進課】

- ・ 11/6 の楽 Café について 3 名が参加。楽 Café 弁当のふりかえりや散歩等を行った。参加者である家族から、楽 Café に参加したことで他の若年性認知症の人と知り合えたり、家族や関係機関とのつながりができたりして良かったとの声があがった。
- ・ 10/28 の楽 Café 弁当について、参加者からも好評であった。また、この様子に関してはケーブルテレビにて放映された。今後は市役所の中だけでなく地域での活動に広げていければと思う。